



ロータリー：  
変化をもたらす

## パワー浜松ロータリークラブ週報

クラブテーマ：奉仕の理想のさらなる実現に向けて

パワー浜松ロータリークラブ（2017-18年度 会長：長谷川 博久 幹事：後藤 達朗）  
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室  
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp  
http://www.power-hamamatsurc.jp

創立：2002年10月22日 認証伝達式：2003年4月29日 スポンサークラブ：浜松中RC

### 第687回例会 8月29日 AM7:30~8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

- 司会：鈴木直幸
- 点鐘：長谷川博久
- ゲスト：米山記念奨学生 徐冬閔さん(浜松西 RC)
- 議事：米山記念部会  
「ロータリー-米山記念奨学生になって」

〈出席報告〉

会員数 79名(内 出席免除会員3名)  
出席数 63名 出席率 82.89%  
前々回出席率 75%

#### ■会長挨拶

おはようございます。先日は、WROの浜松予選会に参加いただきましてありがとうございました。熊谷部会長はじめ新世代奉仕部会の皆様、そして、2日間に渡り出席部会の皆様にもご協力いただきお疲れさまでした。そして実行委員会の福地さん運営お疲れさまでした。また、写真を撮っていただいた西尾さんにおかれましては一日中記録していただき本当にありがとうございました。2日目の開会式から競技そして閉会式へと競技も無事終わり、表彰式も終わって残っているメンバーで片付けを行いました。道具の片付けや机の並び替え等結構重労働でしたが最後まで残っていただいたメンバーの方、お手伝いいただき本当にありがとうございました。

ただ、反省点として、2日目の開会式と閉会式に多くのメンバーが必要でありまして、2日目のみ例会としたほうが良いかと思われました。2日目の開会式は、WROのスタッフ、出場者そしてその保護者と多くの方がいますし、パワーとして目立つのに最適ですし、閉会式の時も多くの人たちがいることですし、何より、終わってからの片付けが大変でたくさんのメンバーがいたほうが楽に終わりますし、WROのスタッフ達にも恩を売ることができますので一番良い形かなと思われました。

今回、改めて感じましたがWROはパワー浜松が協力となっています。この大会は、年々盛況となり、多分将来的にはもっと注目される事業かと思われま

たことから事業展開によっては、パワー自体も注目されることもあるかもしれませんが、協力や後援の関わり方をより具体的に検討していく必要があるかと思われま

す。パワー浜松としての取り組みについてもいろいろあるかと思われま

す。今後の関わり方として例えば入賞者への賞品の提供やトロフィーの授与等で賞状だけではないスポンサーとしての賞賛ですとか、ベーシック部門等の全国大会につながらないカテゴリーに対してパワーのクラブ杯を設けて優勝旗を提供したり、あるいはパワー独自で表彰するだとかやる方法はいっぱいあるかと思われま

す。また、優勝者は例会に呼んで全国大会の壮行会をしたり、スタッフや実行委員長を例会に呼ぶとか様々な方法があるかと思われま

す。さらに言えばクリスマス会にそういった後援した関係者や優勝者を招待するだとか協力体制を作るうえでできることはいっぱいあります。大事なことは、そうした大会を通してパワーの存在意義をどう高めていくかが今後の課題かと思われま

す。

いずれにしてもWROは本当に将来的な可能性を多く秘めた事業ですので今後の展開次第では、パワーの存在そのものを大きく発揮できる事業かと思われま

すので今後とも皆様で応援していくことをお願いしまして会長挨拶と代えさせていただきます。どうもありがとうございました。

## ■幹事報告

- お礼：東小学校 松記念植樹  
植樹 手紙

パワーロータリークラブの皆様  
ありがとうございました。

**100周年記念植樹**  
平成29年5月17日



浜松市立東小学校  
第6学年より

- 地区大会案内

## ■委員会報告

- 12/2（土）認知症サポータ養成講座
- 会員の増強 案内

## ■スマイル（7件）

- 長谷川会長（2件） ・福地さん ・野田さん
- 武田さん ・熊谷さん ・米山記念部会

## ■ハッピーバースデー

- 8月生：寺田さん・松島さん

## ■議事 徐 冬閏さん卓話

- 「ロータリー米山記念奨学生になって」  
自己紹介に始まり、米山奨学生としての活動報告等、  
日本での日常生活を紹介。  
別紙記載。



## ■ 議事

パワー浜松ロータリークラブの皆様、こんにちは、2017年度米山奨学生徐冬閔と申します。2016年4月に米山奨学生になってから、一年間半が経ち、ロータリー米山奨学生としていろいろなことを感じました。以前、他に二種類の奨学金をいただくことがありましたが、その奨学金制度は毎月一回の奨学金の振り込みのみで、イベントはありませんでした。もちろん、奨学生として、サポートしていただいた社会や財団に感謝をしていますが、奨学金終了後は、急に関係が閉ざされた感じがしました。米山奨学生に金銭面でサポートされるだけでなく、奨学生に対しての教育を行っています。

米山奨学生として、毎週の例会は出席しなければならないですが、この出席はとても意味があると思います。例会では経済、政治、歴史、面白い話など様々な話を聴くことができます。自分の得意分野だけではなく、幅広い知識を持っている人は優秀だと思います。例会に出席することは知識を深め教養を高め、情操を豊かにします。

私は今浜松西 RC にお世話になっています。時間があれば、必ず出席します。今まで、大体毎週の例会に出席しています。五回卓話の卓話者として日本語でスピーチをしたり、例会で皆さんとお話する機会を持つことができました。その上、スピーチの内容を考えたり、発音を練習したりすることで日本語の勉強にもなりました。また、例会に出席するとき、毎回美味しく、特別な日本料理を食べることができます。異文化理解にしても、コミュニケーション能力にしても毎週少しずつ進歩していると感じます。米山奨学生になって、「社会奉仕」「国際奉仕」の理念に対して、もっと理解を深めました、皆様の影響で自分も無意識のうちに、世界観がかわっているのではないかなと感じました。米山奨学生になってから、いろいろな収穫がありました、今迄全く考えてなかった沢山のことを考えました。過去に経験していない様々なことをやりました。以上はこの一年半、私の米山奨学生になって以来の感想でした。

